

MEIKEI

MEIKEI 名経大通信 Vol.53

平成28年6月24日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8604 愛知県犬山市内久保6-1-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-ku.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
●本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断複製・転載・転用を禁じます。

めいけいのオープンキャンパスへ行こう!

オリジナルグッズをプレゼント!

“体験授業”も楽しみ!

“ランチ”を食べながら学生クルーとおしゃべり!

名鉄小牧線「田原神社前」駅から無料スクールバスが利用できます!

2016 MEIKEI UNIV. OPEN CAMPUS 8/7-20 9/11 10/8-9 11/13

名古屋経済大学 オープンキャンパス

総合相談コーナーですべて解決!

事前予約 web で受付中!

7/24日 8/7・20日 9/11日 11/13日 10/8・9日

入試相談会

◆10:30~14:30(10:00 受付開始)
◆学部学科説明 / 保護者向け説明会 / 体験授業 / 学食無料体験 / スタンプラリー / 総合相談コーナー など

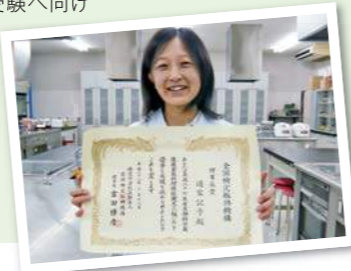
東海No.1! 男子バスケットボール部 第54回東海学生バスケットボール選手権大会「初優勝」

5月5日(祝)、小牧パークアリーナにおいて、男子バスケットボール部が創部7年目に於いて東海学生バスケットボール選手権で初優勝。見事「東海No.1」に輝き、4名の選手が表彰されました。最優秀選手賞は松本健児リオンさん、優秀選手賞には木下峻平さん、得点王・リバウンド王の2冠にはジャニバブ・マリックスイラさんが、そして新人賞には遠藤和希さんが選ばれました。



家庭料理技能検定3級合格と「全国検定振興機構理事長賞」受賞

家庭料理技能検定※3級の合格以上に嬉しかったことは、「全国検定振興機構理事長賞」を受賞できたことです。夏休み中、病院実習と並行しての勉強と練習は大変でしたが、筆記試験は過去問を徹底的に分析し勉強しました。実技試験は李先生が付き合ってください、同級生も協力してくれました。理解ある周りの協力があってこそその表彰だと、とても感謝しています。卒業研究と管理栄養士国家試験受験へ向け忙しい日々を過ごしていますが、今回の受賞は受験へ向けた自信にもなりました。人間生活学部 管理栄養学科4年 安田記子さん 愛知県立江南高等学校出身 ※家庭料理技能検定は、文部科学省後援の検定で、半世紀以上の実績と信頼度の高い資格です。



2017年度入試日程 ※選考方法については、「2017年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	審査結果発表日	合格発表日
AO 1期	エントリー	~2016年9月5日(月)	9月10日(土)	—
	正式出願(専願)	2016年9月14日(水)~9月21日(水)	—	9月30日(金)
一般推薦	前期	2016年10月4日(火)~10月31日(月)	11月6日(日)	11月11日(金)
プラチナ奨学生選抜		2016年11月15日(火)~12月12日(月)	12月18日(日)	12月23日(金)

※その他、AO入試(Ⅱ~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学	修士	1期	2016年8月24日(水)~9月5日(月)	9月25日(日)	9月30日(金)
				2016年8月17日(水)~8月25日(木)	9月10日(土)	9月30日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。
※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)では、Ⅱ期試験(2月)、人間生活科学研究科では、Ⅱ期試験(12月)、Ⅲ期試験(2月)も実施します。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、110年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いいたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方が本学へご寄附いただけますと、以前より多くの所得税の控除を受けることも可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.53について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。



入学式 & 新入生歓迎行事

平成28年度 入学式

平成28年4月1日(金)、名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部および大学院の入学式を挙行了しました。あいにくの空模様ながらもキャンパスの桜が満開となったこの日、真新しいスーツに身を包んだ新入生たちはこれから始まる大学生活への期待を胸に新たな門出を迎えました。

開式の辞、大学歌の斉唱の後、佐々木学長は告辞で「名古屋経済大学は、皆さんが潜在的に備えている能力を発揮できるように導きたいと考えています。どうか今の自分に満足してしまわずに、思い切り背伸びをしていただき、また果敢に課題を見つけて挑んでいただきたいと思えます。私たちは皆さんの背伸びに応じて限りない成長を支援いたします」と、激励のメッセージを送りました。

続いて来賓の祝辞として、本学の卒業生で犬山市長の山田拓郎氏は、「与えられる学びではなく自ら歩を進めて“知の地平線”を広げていく、そんな学びを進めていただきたい」と力を込めて語られました。



新入生を代表し宣誓をする押田さん



新入生を代表し、法学部の押田真奈美さんは「本日から始まる学生生活の中で、多くの教職員の方々、先輩、そして同級生たちと時には楽しみを分かち合い、互いに切磋琢磨していくなかで幅広い教養や専門的な知識を培い、立派な社会人になれるよう踏み出していきたいと思えます」と抱負を述べました。

女子バスケットボール部のエース 大橋瑠菜さん・瑠菜さん姉妹(中央)



新入生歓迎会「名経へようこそ！」

入学式を終えた新入生たちは、「新入生歓迎会」の会場へ移動。体育館の外ではチラシを手にした先輩たちから、クラブ・サークルへの熱烈な勧誘を受けていました。

各学部・学科ごとに分かれて立食形式のランチを楽しみながら、上級生とのアットホームな交流。それぞれの会場には元気な声と笑顔があふれていました。



フレッシュマンセミナー／法学部

犬山キャンパス 4/16(土)

参加された保護者からも大好評

4月16日(土)、新入生のための「フレッシュマンセミナー」を開催し、約100名が参加しました。法学部学習支援室の学生スタッフが企画・運営を行い、法学部の卒業生5名を講師としてお招きし、それぞれの立場(名古屋市職員、司法書士、警察官、保険会社社員)から講演いただきました。

本イベントについては、今回より学生のみならず保護者にもご案内しております。参加された皆さまからは、「入学後の早い時期にこのようなイベントがあるのは好ましい」と、ご好評をいただきました。

(法学部准教授 戸内圭介)



警察官「交通機動隊」の職務について解説



資格取得の勉強法についてレクチャー



OBの話に聞き入る新入生

VOICE 自分のために役立つ、卒業生の講演

私は今回のフレッシュマンセミナーで社会に出て活躍されている先輩方の話を聞き、現代社会を生き抜くために必要な知識や大学生活で身につけておくべきことを教えていただきました。とても



自分のためになる講演会でした。

今回のフレッシュマンセミナーで聞いたことを生かし、今後は自分の力にできるよう授業を受けていきたいと思っています。

法学部1年 森嶋直也さん
岐阜県立大垣養老高等学校出身

フレッシュマンセミナー／人間生活科学部 教育保育学科

レイクサイド入鹿・博物館明治村(犬山市) 4/22(金)・23(土)

全力で取り組んだフレッシュマンセミナー

今回行われたフレッシュマンセミナーでは、上級生サポーター6名が中心となり、レクリエーションや保育に必要な手遊びなどを行うとともに、1年生と共に明治村でクイズラリーに参加しました。

1年生は大学生活にも少しずつ慣れてきた頃のセミナーでしたが、他の友達の長所を発見するとても良い機会になったのではないかと思います。

レクリエーションや手遊びは上級生サポーターが話し合いを重ね決めていきました。私たちも盛り上がるかどうかとても不安でしたが、自分たちが楽しむことで、1年生も楽しめると思い、全力で取り組みました。

教育保育学科はどんな学科なのか、1年生に改めて理解してもらおうことができました。

●上級生サポーター
人間生活科学部 教育保育学科3年 荒川史江さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



明治村でクイズラリー



レクリエーション「フラフープづくり競争」

VOICE ゼミの団結力が高まった2日間

今回のセミナーのレクリエーションでは、先輩方が考えてくれたゲームを通して、今まで話す機会がなかったゼミの仲間とたくさん話すことができました。2日目に訪れた明治村では、クイズを通して明治時代の生活を知ることができ、同時にゼミの団結力が高まったのではないかと思います。仲間たちに出会えたことに感謝し、これから保育者という夢に向かって頑張りたいと思っています。

人間生活科学部 教育保育学科1年
吉田琴音さん 愛知県立犬山南高等学校出身



上級生を講師に「お話し始めるよ 手遊び」

フレッシュマンセミナー／短期大学部 保育科

レイクサイド入鹿・野外民族博物館 リトルワールド(犬山市) 4/5(火)・6(水)

ゼミ内の親睦を深めた2日間

私は4月5日(火)・6日(水)に行われたフレッシュマンセミナーで、1年生同士が打ち解け合い、これから2年間の学生生活をスムーズに送れるように、企画・運営を行いました。まだまだ緊張が解けない1年生の気持ちをほぐすため、自己紹介カードの製作やゼミ対抗レクリエーションを実施。和気あいあいとした雰囲気の中、会話が弾む様子がうかがえました。

2日目に訪れたリトルワールドではゼミ別で行動し、クイズラリーなどを通してゼミ内の親睦を深めることができました。後日のアンケートでは、「友人をつくるのができた」「楽しい2日間を過ごせた」といった声を聞くことができ、一生懸命準備をしてきて良かったと感じました。

●チーム保育科
短期大学部 保育科2年 河野智香さん 名古屋国際高等学校(愛知県)出身



リトルワールドでクイズラリーを楽しむ



「チーム保育科」メンバーと河野さん(最前列右から3番目)

VOICE 子どもの成長を支え、見守る保育士になりたい

私は中学時代、附属市幼稚園で職業体験をし、その頃から「保育士になりたい」という気持ちが強くなりました。名古屋経済大学短期大学部の保育科に入学した今、保育士として必要となる知識をたくさん学び、子どもの成長を支え、見守ることができる保育士になれるように頑張っていきたいと思っています。

短期大学部 保育科1年 伊藤綾華さん
愛知県立犬山南高等学校出身



ゼミ別のワークに真剣に取り組む

手遊びに挑戦する1年生

入学前教育

大学入門2016

大学での「友だちづくり」ははじめます

今年も新年度入学予定者を対象に「大学入門」を開催しました。今年は3月10日(木)・11日(金)の2日間にわたって行われ、300人を超える高校生・留学生たちが参加してくれました。

1日目は全学部学科の学生が対象で、午前中は体験授業、午後は体育館に場所を移し、ゲーム形式で「名経で友だち100人作ろう交流会」が行われました。午後の交流会では、いろいろな学部・学科の入学予定者がごちゃ混ぜになり、ペーパータワーなどのゲームを通じて交流を深めました。2日目はそれぞれ学部・学科に分かれて、独自のプログラムが実施されました。

教員・職員だけでなく、たくさんの在校生が準備段階から参加し、当日は受付・案内から各プログラムの補助まで大活躍してくれました。

参加した高校生たちからは、「友だちができた」「大学生活への不安が解消された」という声をたくさんいただきました。それはそのまま4月以降の新入生の様子に反映され、スムーズな大学生活のスタートに役立ったようです。

(経営学部教授 谷川毅)



留学生の在校生(青いベスト)も加わり
人間ビンゴで友達づくり



ビジネスゲームで
自分の隠れた強みを発見!



高く! 隣よりもっと高く!(ペーパータワー)



「大学入門2016へようこそ!」

全学部・学科共通プログラム

- 政治学入門 「まちの名前を考える」
- スポーツ学入門 「世界で戦う日本選手のサポート体制」
- 「7人制ラグビーって何?」

各学部学科に分かれて「はじめまして! どうぞよろしく!」

- 経済学部 「好奇心を“見える化”しよう」
- 経営学部 「フェアトレード商品を調べてみよう」
- 法学部 「裁判員制度について考えてみよう」
- 人間生活科学部 教育保育学科 「保育技術を体験してみよう」
- 「大学で求められるスキルと先生の仕事について」
- 人間生活科学部 管理栄養学科 「食と健康のスペシャリスト!! はじまりのはじまり!」
- 短期大学部 保育科 「保育ははじめの一歩」

体験授業をのぞいてみよう

- 「ビジネスゲームで自分の強みを見つけよう!」
- 「犬山の観光戦略を考える」
- 「ものづくりの“面白さ”を体験しよう」
- 「広大な敷地をめぐるアクティブツアー」
- 「魅力的な車づくりを企業と若者とともに考える」

CHECK PROGRAM



保育科「入学前教育 IN キャンパス」

事前に準備を進めることの大切さを知る

2月6日(土)、入学前の高校生の緊張感や不安を少しでも解消してもらうため、「入学前教育 IN キャンパス」を行いました。

会場では、造形活動を行ったり、絵本ライブラリーで学生が絵本の読み聞かせをしたり、ピアノの個別指導や図書館の見学をしてもらいました。1日の活動を通し、最初は緊張していた顔も次第にほぐれて笑顔が見られるようになり、とても嬉しかったです。また、当日になって困ることのないように、さまざまなことを想定し、準備を進めることの大切さも学ぶことができました。

短期大学部 保育科2年 長谷部あかりさん
岐阜県立東濃実業高等学校出身



司会進行を担当する長谷部さん(右)



ピアノの個別指導でレベルをチェック



絵本の読み聞かせの前に「手遊び」をレクチャー



「新2年生サポーター」全員集合

学生の活躍

「こどものうた」ピアノコンサート

図書館のエントランスがコンサート会場に変身!



▲緊張しながらもピアノ演奏を楽しむ松山さん



緊張しながらも楽しく発表

平成27年度から行われている「こどものうた」ピアノコンサートは、「こどものうた」の中で好きな曲を1曲選び、それを弾き歌いで発表します。

このコンサートについて知らされた時は、大勢の前で発表する恥ずかしさから抵抗を感じる人がほとんどだったと思います。私も最初は「発表なんてしたくない」という思いが強かったのですが、実際に参加してみると少し緊張はしたものの、楽しんで弾くことができました。さらにこのコンサートで多くのことを学ぶことができ、貴重な経験となりました。

短期大学部 保育科2年 松山ひかりさん 愛知県立旭陵高等学校出身

進学相談会「特別講座」

保育者にとって貴重な経験に

私たち堀ゼミは「ウインクあいち」で行われた進学相談会とフレッシュマンセミナーで『どうぞのいす』の劇と『はらべこあおむし』のブラックシアターを行いました。『どうぞのいす』と『はらべこあおむし』は高校生や大学生の前で演じたため、いつもと違う緊張感がありましたが、その場の状況

に応じて声色を変えてアドリブを加えるなど、工夫をしました。

保育者にとって大切な学びが得られたと思います。どれも自分一人では成しえないことだったので、とても貴重な体験となりました。

短期大学部 保育科2年 浜島あすかさん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



観客から拍手が沸きおこり、笑顔で挨拶をする浜島さん(左から4番目)



ブラックシアター「はらべこあおむし」の一場面



熱心にお話を聞く子どもたち

シアターに取り組んで

人の前に立つ経験が将来の強みになる

堀ゼミはシアター発表に力を入れており、10月には大学祭で「スイミー」のブラックシアターと『どうぞのいす』の劇をしました。夏休みからみんなで集まって小道具を作り、何度も通し練習をしました。大学祭だけでなく犬山城下町や保育園でも発表をし、さまざまな場所で「保育者として人の前に立つ」という経験ができました。大学でこのような経験ができたことは、将来現場に出た時の強みになると思います。

子どもたちの楽しんでいる姿や笑顔を見て、達成感を得ることができました。

短期大学部 保育科2年 池山末希さん
岐阜県立東濃実業高等学校出身

出演者全員でアーチを作ってお見送り



『どうぞのいす』主役のうさぎさんを演じる池山さん

産学連携・高大連携・地域連携

体験型プロジェクト

犬山市学生議会

有意義な経験ができた学生議会

2月15日(月)に犬山市学生議会が開催され、学生議員16名が犬山市長や市幹部職員に対し、それぞれ関心のあるテーマで一般質問を行いました。

本物の議場に入場できたことはもちろん、当日までに犬山市職員の方からは市が進めている「いいね! いぬやま総合戦略」について学ぶことができました。また、議長・副議長はじめ市議会議員の皆さんと懇談する機会も多かったです。今までわかりづらかった議員の役割や日頃の議員活動について知ることができたことも有意義な経験でした。

今後もこのような機会を通じ、自分たちが暮らす地域に興味を持つ学生が増えてほしいと思います。(法学部特任教授 岡田和明)

VOICE 学生議会をきっかけとして

犬山市が直面する「人口減少」と「地域経済の縮小」という課題を克服するには、将来を担う若い世代に本市の現状を知ってもらい、本市も若い世代の考えを知ることが大切です。

学生議会は、学生の皆さんと市の課題を共有し、学生の考える「犬山市にとって必要なこと」を知ることができる良い機会となりました。

学生議会への参加をきっかけにして、今後も皆さんが市政や地域の行事などに積極的に参加してくれることを期待します。

(犬山市役所 経営部 企画広報課 渡邊樹氏)



「犬山市学生議会」の様子

VOICE 議長・学生議員の両方を経験して

私は犬山市学生議会で、議長・学生議員として先生方の指導のもと、犬山市議会議員の方に話を伺い、一般質問の内容を何度も推敲しながら綿密な事前学習をしました。議長では間の取り方や臨機応変

な対応を心がけ、学生議員では、「私が犬山市民の声を伝えるんだ」という意識を持って質問をしました。

この経験を糧に、将来は社会人としても活躍できるような人間になりたいと思います。

法学部4年 倉内佳祐さん
青森県立青森東高等学校出身



VOICE 「自ら考え、話す力」を習得

私は犬山市の道路の暗さと街路灯整備の必要性について犬山市が公開しているデータを吟味し、質問の重複が起こらないよう試行錯誤を繰り返し、質問に加えて、新たな解決策も発案・提案しました。

今回の体験で習得できたのは、莫大な情報から必要な情報を精査しまとめる力と、わかりやすく伝えるための「自ら考え、話す力」です。就業してからもプラスとなる経験値を、「体験型プロジェクト」で上げることができました。

経営学部2年 松並成成さん
岐阜県立武義高等学校出身



犬山高校との「高大連携協定調印式」

「地域の教育力」向上を目指して

3月10日(木)、本学において愛知県立犬山高等学校と本学の「高大連携協定調印式」が行われました。

この連携事業は、犬山市内の高校・大学として教育に係る交流や連携を通じ、相互に理解を深め、教育活性化と地域の教育力を向上させることを目的としています。学習面・研究面はもとより、高校生と大学生とが相互に交流できる場を多く設定し、活発な交流を目指します。



犬山高校 牛田豊校長と名古屋経済大学 佐々木学長を囲んで記念撮影

犬山の学校給食を考えよう

学校給食づくりの取り組み「ドイツ料理」と「カルシウム豊富な献立」が採用に

自分たちが考えた献立を子どもたちに食べてもらいたいと「犬山の学校給食を考えよう」をテーマに、犬山市内の栄養教諭や管理栄養士にご協力をいただき、学校給食づくりに取り組みました。

献立にテーマを持たせ、試作で味を確認し、栄養価も考慮した献立をプ

レゼンテーションしたところ、2作品(ドイツ料理とカルシウム豊富な献立)が選ばれ、2月に市内小中学校14校で実施されました。学校給食の実際に触れる体験型学習となりました。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



提案メニューの試作品を調理

VOICE 子どもたちからの手紙に感動

学校給食として提供される献立を考えるのは初めての経験で、とても難しかったです。自分が考えた献立が実際に提供されると決まった時は驚きました。その後、小学校にお邪魔して一緒に給食を食べる機会も用意していただき、後日子どもたちから手紙をもらった時は、それまでの大変な思いも吹き飛びました。本当に貴重な体験をさせていただき、感謝しています。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 伊藤のぞみさん
愛知県立春日井商業高等学校出身

ロールパン、牛乳
ケールラッシュ、フランクフルト
ジャーマンポテト、
「ドイツ料理」の給食...
みんな完食してくれました!



提案メニューのプレゼンテーション



犬山中学校の生徒とランチタイム



小学1年生とドイツ料理「ケールラッシュ」で会食

カルシウム豊富な献立



ドイツ料理

マレーシア「HELP UNIVERSITY」の学生と国際交流

平成27年12月21日(月)愛知県観光協会、犬山市観光協会、民間企業と本学が連携して、マレーシアの「HELP UNIVERSITY」の学生20名と本学生17名との交流事業を行いました。マレーシアの学生による華麗なファッションショーや本学剣道部員による剣道演舞・体験で盛り上がりました。

マレーシアの学生からは「とても素晴らしく、美しい大学です」、「日本で学生交流ができてとても良かった」と感想があり、また、本学の学生からも「交流できて満足」、「マレーシアの大学生とつながりができてとても良かった」などの感想がありました。



マレーシアの学生を迎え挨拶をする佐々木学長



剣道の手ほどき

狂言体験

1月21日(水)、「名経大発！グローバル人材育成プロジェクト」の日本の伝統文化を体験する一環として、狂言和泉流十世三宅藤九郎氏をはじめ、和泉流宗家の方々にご協力をいただき、「狂言体験」を開催しました。当日は、20名の学生、教職員が参加しました。はじめに、三宅藤九郎氏、和泉淳子氏による狂言の説明があり、その後狂言に関するクイズや実演、演舞体験などを行いました。なごやかな雰囲気の中で多様な内容に触れることができ大変貴重な機会となりました。



演舞体験



狂言の解説をする三宅藤九郎氏

ベトナム学生派遣研修

3月1日(火)～5日(土)、「名経大発！グローバル人材育成プロジェクト」の一環として、日本人学生7名がベトナム派遣研修に参加しました。本研修は、学生のオープンマインドを育て、新しいことに挑戦する精神を涵養すること、留学生の母国やアジア地域に親しみや関心を持ち、本学のグローバル化のきっかけを作ることを主な目的として行いました。

本研修には本学で学ぶベトナム人留学生の4名も参加し、日本人学生

のホームステイ受け入れや滞在時の通訳サポートなどに協力しました。また、研修の一環としてベトナムの大学を訪問して日本語を学ぶ大学生と交流したり、ベトナムに進出している日本企業の見学などを行いました。

短期間の研修でしたが、参加学生にとってとても有意義な時間となりました。



ハノイ市内観光



国会議事堂の前にて



企業訪問

英語語学留学

トップレフリーを目指し、英語力を強化

平成28年2月から約7週間、ニュージーランドに英語の語学留学に行ってきました。私は、ラグビーのトップレフリーを目指しています。国際試合を担当できるトップレフリーになるには、技術はもちろんですが、語学力(特に英語力)が必要になります。その英語力修得の第一歩として、今回、留学することを決めました。



修了書を手に記念撮影

ニュージーランド

現地では、平日の朝から夕方まで語学学校で英語を勉強し、生活はホームステイでした。まったくと言っていいほど英語を話すことができない状態だったため、はじめの2日間は何も聞きとれず苦勞しましたが、約1週間ですこずつ聞き取れるようになりました。語学留学を終え、最終的には英語を聞く力は間違いなく上達。満足して日本に帰国することができました。

法学部2年 土屋幸大さん
愛知県立鳴海高等学校出身



先生とグッジョブポーズ

フィリピン セブ島

他国の生徒と交流し、スキルアップ

平成28年2月から約3か月間、フィリピンのセブ島にある英語の語学学校に留学しました。私は沖縄県沖縄市出身で、家の近くには米軍基地があり、幼い頃から外国人と触れ合っていました。そのような縁もあって英語に興味があり、大学入学後も独学で英語を勉強していましたが、今回思い切って短期ではありますが留学してみようと思いました。

留学先は日本人の生徒も多かったのですが、できるだけ他の国の生徒と交流することを心がけて生活しました。

その結果、読み書きはまだなのですが、英語を話すことと聞くことは留学前と比べて、かなりスキルアップできたと思います。

法学部4年 玉城涼さん
沖縄県立コザ高等学校出身



研修を終え、クラスメートと記念撮影をする玉城さん(中央)

ベトナム学生派遣研修

3月1日(火)～5日(土)、「名経大発！グローバル人材育成プロジェクト」の一環として、日本人学生7名がベトナム派遣研修に参加しました。本研修は、学生のオープンマインドを育て、新しいことに挑戦する精神を涵養すること、留学生の母国やアジア地域に親しみや関心を持ち、本学のグローバル化のきっかけを作ることを主な目的として行いました。

本研修には本学で学ぶベトナム人留学生の4名も参加し、日本人学生

のホームステイ受け入れや滞在時の通訳サポートなどに協力しました。また、研修の一環としてベトナムの大学を訪問して日本語を学ぶ大学生と交流したり、ベトナムに進出している日本企業の見学などを行いました。

短期間の研修でしたが、参加学生にとってとても有意義な時間となりました。



ハノイ市内観光



国会議事堂の前にて



企業訪問



みんなでワイワイランチタイム

VOICE

希望の就職へ向けて

温かく歓迎してくれたホームステイ先のファミリーや気さくに話しかけてくれる現地の方とのふれあいなど、充実した研修を体験できたことで語学の勉強にもより積極的に取り組むことができました。

将来は海外貿易に関連する企業に就職できたらと、資格取得の勉強も頑張っています。「ベトナム学生派遣研修」を経験したことで、さらに夢が大きく膨らみました。

法学部2年 佐野雅絵さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



現地の大学で講義を体験

VOICE

異文化体験を満喫

中国・イギリス・フランスと海外旅行の経験はありますが、東南アジアははじめてでした。普段から学内でベトナム人留学生と交流はしていますが、現地だからこそ味わえる異文化体験はとても刺激的でした。

温かく迎えてくださったホストファミリーとの交流や見学先での異文化体験により、今まで漠然と思い描いていた長期留学への憧れが現実味を増えています。

法学部2年 猿楽桂さん
藤ノ花女子高等学校(愛知県)出身



テニス部

新生テニス部!

テニスコートもリニューアルされ、2016年度より西尾徳治監督と鍋谷尚映コーチ指導のもと、新入生を迎えて新生テニス部が動き出しました。

目標として1部昇格の次に全国大会・インカレへの出場を掲げ、早朝7時と授業終了後に練習。週末には市邨高校と合同試合をすることもあり、練習内容も充実しています。今後は授業の空き時間を利用した練習で、個々のレベルアップを図って行く予定です。

VOICE “社会に必要とされる人”になる

将来を見据えながら「社会に必要とされる人」になるためには、相手や先を見ながら主体性を持って動ける「行動力」に加え、「コミュニケーション能力」が必要になります。さらに、人に好かれる要素も大切だと考えます。テニスを通してそのような力を身につけることができるよう、成長を見守りたいと思います。

(テニス部コーチ 鍋谷尚映)



左から長谷川真琴・安原彩嘉・齋藤快理選手



「MEIKEDAI」のロゴも鮮やかにリニューアル

女子バスケットボール部

男子部の優勝も刺激に

2016年度、女子バスケットボール部は重田恒文監督(男子部兼任)と神谷知里コーチを迎え、強化指定クラブとして東海学生リーグ3部から新たな歩みをスタートさせました。

シーズンがスタートして早々に飛び込んできた男子部の「東海学生バスケットボール選手権優勝!」も良い刺激となり、練習にも真剣みが増したように思います。また1974年度の「全日本学生バスケットチャンピオン大会 優勝!」という市邨短大時代の輝かしい伝統を武器とし、選手一人ひとりが大学生として自覚を持ち、自立と成長



期待のエース 大橋瑠菜選手



女子バスケットボール部 フルメンバー

を目指して1年生チームだからこそできるチャレンジャー精神で、3年後の「インカレ出場」を目標に邁進して行きたいと思っています。

女子サッカー部

2016年度 愛知県リーグに参戦

女子サッカー部は昨年、強化クラブの一つとして創部しました。最初はサッカーが好きで大学でも続けたいと思ってくれる仲間と少人数でスタートしましたが、今年度は県内外の強豪高校から5人の仲間が加わり、現在7名で活動しています。

学業では一人ひとり将来の目標を持ち、部活では今年度から愛知県リーグに参戦し昇格を目指し、インカレ出場という大きな目標を果たすために日々頑張っています。(女子サッカー部監督 三壁雄介)



1年生を迎えて新ユニフォームで記念撮影

楽田小学校安全安心マップ

「楽田小学校安全安心マップ」が完成しました

産官学連携による取り組みとして、経済学部学生研究室が中心となり「楽田小学校安全安心マップ」を作成しました。地理情報システム(GIS)を活用したデジタル地図で、通学路の安全情報をインターネット上で表示できるようにしたものです。作成にあたっては、まちの最新状況を知るため、小学生の保護者や犬山商工会議所運輸部会などを対象として、危険箇所についてアンケートを実施しました。この結果をもとに、約60か所の危険箇所を実際に歩き調査しました。マップは、本学地域マップホームページで見ることができます。

(経済学部准教授 佐野八重)



第14回 やどかり塾

やどかり塾にボランティア参加

大学周辺の地域活動体である楽田コミュニティ推進協議会による「やどかり塾」は、毎年12月の第1土・日曜日に実施されています。地域の子どもたちにレクリエーションと学びの場を提供するもので、毎年、経済学部学生研究室を中心に他学部の学生も加わってボランティア参加しています。肝だめ



夕食の鍋を囲んでみんな楽しそう

VOICE 小学生との交流で学ぶことも

周辺地域にある小学校の通学路安全マップを作成する事業に参加しました。市役所や商工会議所などと連携して活動することで、礼儀を学び、物事の視野を広げるなど、多くの経験を得ることができました。また、小学生と一緒に危険箇所を歩いたまち歩きでは、知らない人にも積極的に話しかけていく小学生の姿からも学ぶことができました。

●経済学部学生研究室 地域政策チーム
経済学部2年 神谷有輝さん
愛知県立鳴海高等学校出身

現地での確認作業(神谷さん 右から2番目)
写真提供:犬山市役所

「小学生とまち歩き」
通学路の危険箇所を
歩いて調査!

し、オカリナづくり、夕食の鍋料理づくり、ウォーキングラリーなど、子どもたちの活動を助けながら、楽しい交流のひとつとなりました。(佐野)

VOICE 世代を超えた交流は新鮮

経済学部学生研究室の活動に3年間にわたって参加してきました。「やどかり塾」とは、小学生を対象としたプチ合宿のようなものです。私たち大学生は班付リーダーとして、年齢が10歳以上離れた子どもたちと行動を共にします。子どもたちをはじめ、楽田コミュニティの方々との老若男女を問わない交流は、新鮮で楽しいです。今年もぜひ参加したいと思います。

法学部4年 川瀬雅揮さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

こまき産業フェスタ2016

来場者へ本学の「主体的な学び」をPR

5月28日(土)・29日(日)の両日、パークアリーナ小牧にて「こまき産業フェスタ2016」が開催され、本学経済学部の学生6名が参加し、地域との連携から始まった「楽田小学校安全安心マップ」の取り組みの紹介を行いました。ブースでは、会場の設置レイアウトなどの準備から発表、大学PRまで、来場者へ向けて熱心に呼びかけを行いました。特に中学生や高校生に対しては、社会的な課題を自由に自主的に学べる本学の良さをアピールしていました。(地域連携センター長 経済学部教授 横平龍宏)



VOICE チームとして1年間の成長を実感

昨年は先輩に任せきりでしたが、今年は自分たちの活動内容を来場者の皆さんに説明することができました。チームもこの1年間で成長できたと思います。このような取り組みを私たちも後輩へ継承していきたいです。

●経済学部学生研究室 地域政策チーム
経済学部2年 平島徹也さん
福井県立金津高等学校出身

通学路に潜む危険箇所をモニターで確認

卒業式・表彰

平成27年度 卒業証書・学位記授与式

3月18日(金)、名古屋経済大学・短期大学部、および大学院の卒業証書・学位授与式が執り行われ、卒業証書・学位記の授与に加え、学業において優秀な成績をおさめた学生および、文化活動における顕著な功績をおさめた学生を讃えて「学長賞」が授与されました。

佐々木学長は告辞として、「皆さんは人生の大きな節目のひとつを迎えています。改めてこれまでの道のりを思い起こし、門出の抱負を温めてください。長い人生にはいくつかの節目がありますが、その節々において想いを新たにすることは、その先の人生の充実につながります。どうか皆さん、ヤドカリになることなく、社会にしっかりつながり、主人公としてそれぞれの人生を堂々と生きてください。そのために、これからも学びを重ねてください。もし、皆さんが“学び直し”をしたと思ったときには、名古屋経済大学を生涯の学びの場と考えて、いつでもその門を叩いてください」と述べられました。また、犬山商工会議所会頭の日比野良太郎氏からも心のこもったご祝辞をいただきました。



卒業生代表
ヨウ・レイキンさん

学長賞受賞者

- 【学業成績優秀者】
法学研究科 法学専攻
岩本 豪さん
会計学研究科 会計学専攻(博士前期課程)
エン・リョウテンさん
- 経済学部
高木 直人さん
経営学部
ヨウ・レイキンさん
- 法学部
中山 真歩さん
人間生活科学部 教育保育学科
本城 絵里さん
人間生活科学部 管理栄養学科
本多 愛美さん
短期大学部 保育科
菅 有希さん

- 【資格取得において
顕著な功績があった学生】
- 行政書士ほかの資格取得
法学部学習支援室のリーダーとしての活躍
法学部
尾崎 文成さん
- 【文化活動において
顕著な功績があった学生】
- 留学生への
「日本文化の伝承・交流活動」での活躍
人間生活科学研究科 幼児保育学専攻
笹野 大栄さん
- チーム保育科
大学祭・オープンキャンパスでの活躍
短期大学部 保育科
今津 加奈子さん

大学顕彰受賞者

- 「ちゃんごはん」マックスバリュ中部とお弁当企業
大学連携講座「子どもと一緒に調理」での活躍
人間生活科学部 管理栄養学科
五代儀 真由さん 河野 久美さん 滝 翔也さん 和久 那津実さん



式を終え記念写真に収まる卒業生たち

平成27年度 2名に「博士号」を授与

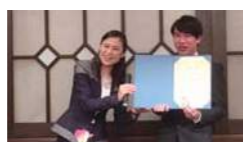


平成27年度は、会計学研究科から2名の院生に栄えある博士号が授与されました。博士号取得者は、倉地孝幸氏(写真右、荒木和夫研究室)と幸田威久矢氏(写真左、脇田良一研究室)です。倉地氏は博士論文題目「減損会計の論理—減損処理の再構成—」により博士(会計学)の学位を取得されました。倉地氏は在籍中から現在も、同じ企業に会社員として活躍されています。幸田氏は博士論文題目「資金計算情報の有用性に関する研究」により博士(会計学)の学位を取得されました。幸田氏は在籍中から、青森の大学で教員として活躍されています。皆さんそれぞれ、さらなる活躍が期待されています。

全国保育士養成協議会会長賞表彰

全国保育士養成協議会は、保育士養成校を会員とする団体で、毎年、特に成績が優秀であり、保育士として就職が決定した学生に「会長賞」が授与されます。

平成27年度は、人間生活科学部 教育保育学科からは宮田浩平さん(春日井市立保育園勤務・名古屋経済大学市邨高等学校出身)が、短期大学部 保育科からは、江口実花さん(犬山市立保育園勤務・愛知県立犬山高等学校出身)がそれぞれ表彰されました。



伊藤学科主任から表彰を受ける宮田さん



寺田科長から表彰を受ける江口さん

全国栄養士養成施設協会会長賞表彰 日本フードスペシャリスト協会優秀賞

人間生活科学部管理栄養学科では、卒業とともに栄養士免許が取得できます。また、試験に合格することでフードスペシャリストの資格も取得できます。卒業式では、優秀な成績をおさめた学生に対し、栄養士養成協議会会長賞やフードスペシャリスト優秀賞が授与されます。平成27年度の会長賞は、竹内志帆さん(静岡県立浜名高等学校出身)が、優秀賞には、粕谷侑子さん(名古屋経済大学高蔵高等学校出身)が受賞しました。今後それぞれの分野で活躍してくれることを楽しみにしています。

平成27年度 大学顕彰表彰式

4月27日(水)、学業成績優秀者と、学術・文化・スポーツに優れた実績を残した団体に対する大学顕彰表彰式が執り行われました。学長より祝福の

【学業成績優秀者】

- 経済学部
4年 木村 優さん 戸田 浩幸さん 渡辺 恒一郎さん
3年 棚橋 雅菜さん グェン・ニュー・クイン・アインさん 三輪 真也さん
2年 矢郷 正輝さん 辻 拓真さん 水上 知也さん
- 経営学部
4年 梁 麗芳さん 王 龍龍さん 趙 燕燕さん
3年 岡崎 未佑衣さん 上田 俊茂さん 山下 椋平さん
2年 バク・ス・ピンさん ド・ティ・ピック・リエンさん アンドウ・ケイリー・カビコさん
- 法学部
4年 宮本 知仁さん 中村 悠吾さん 倉内 佳祐さん
3年 佐藤 博俊さん 新沼 光さん 小山 雅斗さん
2年 寺尾 忠蔵さん 徐 強さん 夏目 和希さん
- 人間生活科学部 教育保育学科
4年 畔柳 晋太郎さん 川瀬 敦也さん 加藤 拓実さん
3年 江原 歩美さん 丹羽 理子さん 広瀬 諭香さん
2年 野田 千晶さん 我妻 まゆさん 宮田 祐希さん
- 人間生活科学部 管理栄養学科
4年 杉浦 文也さん 池上 史織さん 大海 祐佳さん
3年 山本 健人さん 寺澤 成都さん 上野 竜樹さん
2年 内迫 悠莉さん 黒澤 砂代さん 中村 綾さん
- 短期大学部 保育科
2年 池山 未希さん 松山 ひかりさん 高木 麻李也さん 松枝 滯香さん



「学業成績優秀者」として表彰状を受け取る経営学部 ド・ティさん

言葉が述べられ、あたたかい拍手を浴びながら、更なる活躍に向けて寄せられた期待を、一人ひとりの学生が両手でしっかりと受け止めていました。

【学術・文化に優れた実績を残した団体】

- 奨励賞
「人間生活科学部 管理栄養学科 上延ゼミ」
人間生活科学部 管理栄養学科
- 4年 大河内 絵理奈さん 小澤 佳子さん 2年 山田 志保さん
高野 佑美さん 中倉 絵理奈さん 瀧下 悠華さん
三澤 祥子さん 安居 佑真さん 林 優花さん
渡邊 紗葉里さん
3年 岡田 典子さん 中神 有菜さん 2年 和田 みなみさん
伏見 洸さん 古山 弥生さん
- 奨励賞
「学生広報室」
人間生活科学部 管理栄養学科

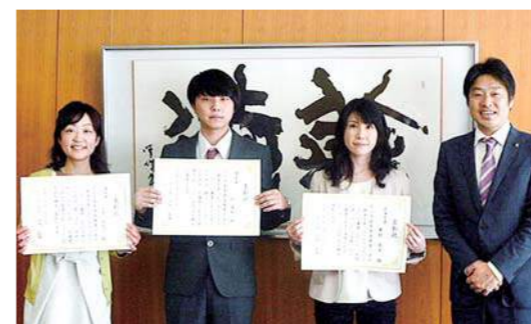


学長を囲んでにごやかに「記念写真」に収まる学生たち



「学業成績優秀者」として表彰された人間生活科学部 教育保育学科 川瀬さん

犬山市朝食食育推進標語表彰



受賞者とともに山田拓郎犬山市長(右)と記念撮影

犬山市が市民から募集した「朝食を食べようキャッチフレーズ」に管理栄養学科2年生が応募しました。朝食を毎日食べる意識が持てるようにと、さまざまな標語が考えられ、小学生から70代までの149作品の中から、本学2年生(受賞当時)間勝政さん(北陸高等学校出身)の作品「朝ごはんにはドラマがある」が入選し、犬山市から表彰されました。



地域社会と関わる栄養教育に向けての意識向上につながることを期待しています。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)

幼稚園でお買い物を取り入れた「新しいかたちの親子料理教室」を開催

「買い物 de 鍋パーティー」

今回の親子料理教室は、前回の「家族みんなで参加型料理教室」を、さらにバージョンアップし“お店屋さんごっこ”を取り入れた、園児自らが好きな鍋の材料を選び「食材お札」と引き換えにお買い物から学ぶという体験を通じた栄養教育を試みました。1回目のお買い物では食の偏りがありました。2回目のお買い物ではバランスの良い食材が揃いました。家族みんなで園児の購入した食材を調理し、楽しい鍋パーティーとなりました。

単に一方的な栄養教育を行うのではなく、このように実践的な食の指導法を企画運営できる力を身につければ、即戦力になる管理栄養士が育成できるのではと考えております。（人間生活科学部 管理栄養学科准教授 早川麻理子）

VOICE 楽しそうな園児たちの笑顔に やりがいを感じました

私たちは卒業研究の一環として、幼稚園児を対象に買い物から学ぶ栄養教育活動を実施しました。料理教室の運営は初めてで、一から計画し、何日もかけて準備をしました。園児が自分に必要な食材選びができるようになったことが嬉しくて、食の学びには工夫が必要なんだと実感しました。楽しそうにお買い物をする園児たちに不安も吹き飛び、とても勉強になりました。

人間生活科学部 管理栄養学科4年
伊藤 宏さん 長野日本大学高等学校(長野県)出身
宮下寛基さん 長野県飯田風越高等学校出身



オープニングで挨拶をする(左から早川先生、伊藤さん、宮下さん)



「食材お札」を手に、どんな食材を買おうか? 考える園児たち



園児の購入した食材で「調理がスタート!」

事業所お弁当給食と栄養教育発表

お弁当を介して「食生活を考える」機会を提案

今回の取り組みは、従業員の皆さんに栄養バランスを考慮した昼食を提供し、自分の食生活について考える機会を持っていただくのが目的です。事前に性別や年齢、食生活の状況、嗜好などをうかがい、それを基に給与栄養量を設定し、献立作成、調理、提供、お弁当を媒体とした栄養教育発表を

実施しました。学生にはこのような実践を通して、対象者に応じた適正な食事を提供するために必要な知識や手法を獲得して欲しいと思っています。

今回の反省点を踏まえ、今後も継続的にこうした取り組みを実施していきたいと考えています。（人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶）

VOICE 次につながる良い経験になりました

従業員の方たちの、「たくさん食べたいけど健康面は気になる」という声に応えられるよう、満足感と栄養バランスの両方を満たし、見た目の美しさも考慮した献立を考え、何度も試作を行いました。リーフレットや卓上メモを作成し、一人でも多くの方に「食」への関心を高めていただけるよう努めました。苦労もありましたが、食を通してさまざまな人と関わり、言葉を交わし合えたことが何より心嬉しく、自分にとって次につながる良い経験となりました。

人間生活科学部 管理栄養学科4年
大河内絵理奈さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



スリーポンドワークス犬山工場に提案したお弁当給食「9種類のバラエティ Xmas ランチ」とリーフレット

名古屋経済大学オープンカレッジ2016

問い合わせ先:地域連携センター TEL 0568-68-3282

「犬山市民総合大学 敬道館」と連携

平成28年度より犬山オープンカレッジは「名古屋経済大学オープンカレッジ」と名称を変え、犬山市民総合大学の一つの学部講座としてスタートします。地域連携センターを中心とした、「地域に親しまれる大学づくり」を

目指し、連携を強化していくことになりました。

秋から開講されるオープンカレッジでは、本学ならではの魅力ある講座をさまざまな分野で開催していきます。今後の展開にご注目ください。

第1回

9月17日(土) 10:00~11:30 経営学部教授 谷川毅
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室)

「翻訳よもやま話」

翻訳の苦労話や、翻訳小説の魅力についてお伝えします。

第2回

10月8日(土) 10:00~11:30 経営学部准教授 中村真咲
●名古屋経済大学(7E2教室) ※大学祭同時開催

「モンゴルの法と社会」

モンゴルの法と社会の変容を通して、北東アジアの近現代史を考えます。

第3回

10月9日(日) 10:00~11:30
人間生活科学部 管理栄養学科准教授 太田和徳
●名古屋経済大学(7E2教室) ※大学祭同時開催

「食生活改善からアルツハイマー病を考える」

身近な食品の有用性を分子医学研究の視点から概説します。

第4回

11月19日(土) 10:00~11:30 短期大学部 保育科准教授 飯田幸恵
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室)

「子どもが創造する絵本」

子どもが想像力でイメージを創造する絵本の魅力を、絵・言葉・ストーリー等から考えます。

日中民事訴訟法シンポジウム

「中国民事訴訟法改正の現状と課題」

4月3日(日)、本学名駅サテライトキャンパスにおいて、「中国民事訴訟法改正の現状と課題」をテーマに「日中民事訴訟法シンポジウム」を開催いたしました。同シンポジウムは、これまで中国および日本の大学を会場として、2011年以来計4回開催されてきたものです。今回(第5回)は、中国の華東政法大学の先生4名よりご報告をいただきました。

報告1

華東政法大学教授 陳剛氏

「中国民事司法鑑定の現状と課題」

報告2

華東政法大学准教授 鄧継好氏

「中国民事訴訟における専門家輔助人制度の問題点と改善策」

報告3

華東政法大学准教授 蔣集躍氏

「中国民事訴訟における調停先行制度の現状と展望」

報告4

華東政法大学助教授 傅雪峰氏

「中国医療ADRの現状~上海医療紛争調停委員会の経験を例として~」

多くの方々に来場いただき、理論と実務の両面から相互の理解を深めることができました。（法学部准教授 張瑞輝）

学術交流に関する協定を締結

「日中民事訴訟法シンポジウム」に先立ち本学法学部と中国華東政法大学訴訟法学研究センターは、双方の学術上の交流及び協力の促進を図るため、学術交流に関する協定を締結致しました。



調印式を終え握手をする華東政法大学 陳教授(左)と佐々木学長



シンポジウムの様子